

農業従事者及び農業関連企業向け

ORGANIC ECO FESTA 2018  
in TOKUSHIMA



オーガニックが創造する美と健康の明るい未来  
有機農業技術会議



# ORGANIC・ECO FESTA 2019

IN  
徳島



※画像はオーガニック・エコフェスタ2018の農業技術者会議です。

参加料

1000円  
(税込)

冊子代含む

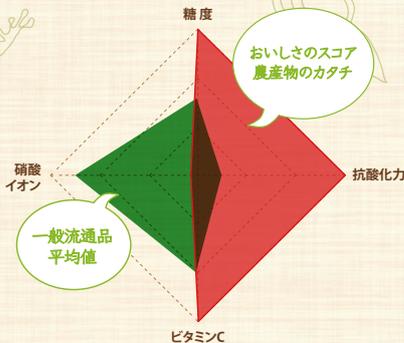
2019年 2月23日(土)

会場 | 小松島市ミリカホール

徳島県小松島市小松島町新港9-10

農業  
改革

生物  
多様性



## 栄養価コンテスト

参加者  
大募集!!

栄養価の高い野菜と、そうでない野菜がある。  
栄養価の高い野菜とはどんな野菜なのだろうか？  
コンテストを通じて、その実態を確認していただけます。

※詳細は下記アドレスよりご確認ください。

(一社)日本有機農業普及協会: <https://www.jofa-blof.net/blank>

※当イベントは事前予約して頂いた方を優先させていただきます。当日受付も行いますが席数の関係でご入場できない場合があります。予めご了承ください。  
(予約についてのお問い合わせ:株式会社農協観光 Nツアー・コールセンター TEL0570-040-000)

主催 | オーガニック・エコフェスタ実行委員会

協賛 | 一般社団法人日本有機農業普及協会、東とくしま農業協同組合、生活協同組合連合会コープ自然派事業連合、  
農林中央金庫、株式会社農協観光、オンダン農業協同組合、ナカガワ・アド株式会社(あど畑事業部)

共催 | 徳島県、小松島市

後援 | 中国四国農政局、徳島市、株式会社エフエム徳島、株式会社エフエムびざん、一般社団法人オーガニックヴィレッジジャパン、四国放送株式会社、一般社団法人徳島新聞社、  
株式会社日本農業新聞、一般社団法人日本野菜ソムリエ協会、特定非営利活動法人有機農業参入促進協議会、一般社団法人日本協同組合連携機構

organic day.  
「有機農業の日」に賛同します

# 有機農業技術会議2019

## オーガニックが創造する美と健康の明るい未来

オーガニック・エコをキーワードにプロフェッショナルをお招きし、セミナーやトークセッションなど、ビジネス拡大につながるコンテンツが勢揃いします。

2月23日(土) 9:10～ 受付 9:30～ 開会

10:00～11:30

### 基調講演

#### なぜ? 今 有機農業が注目されているのか?

栄養価コンテストのデータの蓄積と、そこから生まれてきた有機農業技術の普及を通じて見てきた、これからの有機農業の展望と有機農業者がつくり出す未来の姿について。



小祝政明  
(一社)日本有機農業普及協会 (JOFA)代表

12:00～13:45

### 栄養価コンテスト結果発表と授賞式

私たちの心身の健康を支えている野菜。しかしその中身は、栄養価の高いものから低いものまで様々。有機栽培だからといっても、必ず栄養価が高くなるわけではありません。では栄養価の高い野菜は、どのような栽培方法によって生み出されるのか? 栄養価コンテストではグランプリを決定し、その農家さんに栽培方法をコメントしていただきます。環境にやさしい有機農業の次の目標は、「どうすれば人の健康を支えることのできる有機農業にすることができるのか?」技術の切磋琢磨は続いています。



小祝政明  
(一社)日本有機農業普及協会 (JOFA)代表



武井安由知氏  
(株)メディカル青果物研究所 (デリカフーズグループ) 研究開発室長

14:00～15:45

### 有機農業技術会議【第一部】 農業者による実践発表



過去7回開催された栄養価コンテスト。その蓄積されたデータから見てきたもの。それは栄養価の高い農産物をつくるための「土づくり技術」そして栄養価の高い農産物はおいしいという事実。わたしたちはこの栽培技術が全国に波及し、日本が中身で勝負できる世界一の農業国になることを願っています。



#### 高品質・多収穫トマト栽培の実践報告

元木 雅人氏

株式会社JOAA 副社長

水溶性多糖体炭水化物 & ミネラルを最大限に活用した有機農産物の産地づくりプロジェクト



#### 高品質・多収穫を目指して16年目の有機栽培実践報告

田中 誠氏

有限会社くまもと有機の会 専務取締役  
熊本BLOF研究会 代表

有機人参と栄養価コンテスト1位のホウレン草の作り方



#### 連結脳の有機栽培へ

萩原 紀行氏

のらくら農場

高品質・高食味をめざして21年目の中間報告

標高1000mの6haの畑で10人で50品目の野菜を栽培



#### 究極の高品質柑橘の栽培方程式づくり

丹下 隆一氏

あじまる

科学的論理的有機柑橘栽培・10年の試行錯誤の実践報告



#### 硝酸抑制技術の最先端

鈴木 一哉氏

エンザイム株式会社 営業部長

腐食と微生物の活用がカギとなる

16:00～18:00

### 有機農業技術会議【第二部】 研究者による実践発表

科学は日々進歩しています。そして農業分野においても、新しい科学技術の蓄積は、いよいよ世界を大きく変えるパラダイムシフトの時を迎えていると感じます。これからの農業技術の基礎理論を担っていくであろう研究者に、最新の研究成果と未来の姿について語っていただきます。



#### 作物のアミノ酸吸収について ～これまでに分かったこと～

二瓶 直登氏

東京大学大学院農学生命科学研究科准教授



#### 作物と土と微生物の関係について ～科学の力で農業環境の見える化～

市橋 泰範氏

国立研究開発法人理化学研究所  
バイオリソース研究センター 植物-微生物共生研究開発チーム